

# 事業結果要約報告書

受付番号 021

2023 KJ-大野政人-米子高専

—科学技術振興関係—

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

2024年 1月 9日

所属機関名 米子工業高等専門学校

申請代表者 大野政人

役 職 准教授

フリガナ オオノ マサト

氏 名 大野政人 印

(TEL : 0859-24-5060 )

マツダ財団から受けた 助成金 105 千円 による事業結果について、次のとおり報告します。

助成事業名 **アダプテッド・スポーツを通じて体の機能と用具の工夫を学ぶ**  
(事業期間： 2023年12月16日 ~ 2023年12月16日 )

	計 画	実 施 結 果
事 業 内 容	<p>日時 ①2023年7月15日(土) 10:00-15:00 ②2023年11月25日(土) 10:00-12:00</p> <p>場所 米子工業高等専門学校</p> <p>対象 小学生、中学生</p> <p>定員 なし</p> <p>内容 ブラインドサッカー等を通じて、体が動く仕組みや体の障害に関する事、また、障害者との共生社会において必要な考え方や用具等の工夫について学ぶ。</p> <p>※①については物品の納入が間に合わず、②については受講希望者が0名だったため、右記の日程を追加して募集を行い、事業を実施した</p>	<p>日時 2023年12月16日(土) 13:00-14:30(小学生) 2023年12月16日(土) 15:15-16:45(中学生)</p> <p>場所 米子工業高等専門学校</p> <p>対象 小学生、中学生</p> <p>参加者(人) 16人</p> <p>内訳 (小中高の先生；0人)(生徒；16人)</p> <p>内容 ブラインドサッカーと車椅子バスケットボールを体験しながら、体が動く仕組みや体の障害に関する事、また、障害者との共生社会において必要な考え方や用具等の工夫について講習を行った。</p> <p>講習；上記2件</p>

## 事業結果報告

### 事業の目的・ねらい

科学技術や医療技術の進歩と共に、子供、高齢者、障害者、外国人など、様々な特徴を持った人と共に社会生活を送る機会が今後益々増えてくることが予想される。そのような共生社会において、集まった仲間と一緒に社会生活を楽しむためには、個々の特徴を的確に捉え、様々な「工夫」を考える必要が出てくる。

本事業では、アダプテッド・スポーツのうち、ブラインドサッカー（視覚障害）と車椅子バスケットボール（身体障害）を題材として、クラス分け、道具、ルール、声掛けなど、皆がスポーツを楽しむために必要な様々な「工夫」を学んだり、考えたりする機会を提供した。また、実際にそれらのスポーツを体験することにより、障害者の身になって必要なサポートを考え、幅広い視点で「工夫する」力を養うことを目的とした。

### 事業の概要

ブラインドサッカーと車椅子バスケットボールそれぞれについて、体の機能不全の観点から競技者の障害（視覚・身体）を説明した後、競技におけるクラス分けの方法、道具の工夫、ルールの工夫等について説明を行った。その後、ドリブル、パス、シュートなどの基本的な練習を行いながら、上手くなるためのポイントを考えると共に、周りの人（健常者）が視覚障害者（閉眼またはアイシェードを着用）や身体障害者（車椅子に乗っている）をどのようにサポートするのが良いか、考える機会を与えながら実施した。車椅子バスケットボールに関しては試合も行った。

### 成果・効果

参加者全員が初めて体験するスポーツであり、特にブラインドサッカーでは、最初は戸惑いが大きかったが、周りの人の音出しや声掛けの工夫次第で上手にプレーできるようになることを体験できた。車椅子バスケットボールではシュートがゴールに届かない人が多く、試合では、ボードやゴールに当たったら点数が入るようにルールの工夫したり、床に置いたカゴをゴールにしたりするなど、様々な工夫を考えながら体験することができた。

写真、図（4点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。）



ブラインドサッカーのドリブル練習（左）とドリブル・シュート練習（右）



車椅子バスケットボールのドリブル・シュート練習（左）と試合（右）